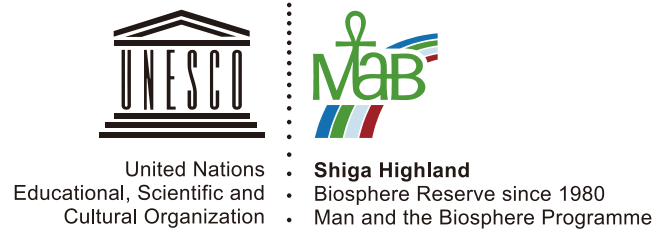




核心地域「まが玉の丘コース・こけ岩」



ユネスコエコパーク=BR(Biosphere Reserves)とは

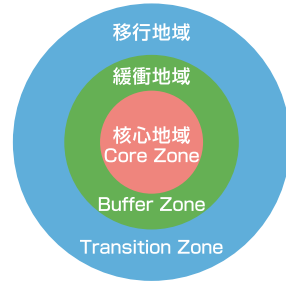
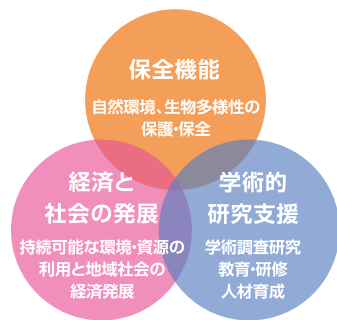
ユネスコエコパークをご存知ですか？

生物多様性の保全、持続可能な開発、学術研究支援を目的として、1976年にユネスコが開始。ユネスコの自然科学セクターで実施されるMAB (Man and the Biosphere) ユネスコ人間と生物圏計画における一事業として実施しています。

「世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約」に基づく世界遺産が、手つかずの自然を守ることを原則とする一方、ユネスコエコパーク (BR) は、生態系の保全と持続可能な利活用の調和 (自然と人間社会の共生) を目的としています。「保全機能」、「経済と社会の発展」、「学術的研究支援」の3つの機能をもつ地域が登録されます。

志賀高原ユネスコエコパークは、年間約200万人を越える人々が訪れる、日本有数の観光レクリエーション地です。1960年代以降にスキー場を中心とした急速な開発が進められてきました。しかし核心地域はほとんど人為の影響が無く、原生的な森林が大面積で保全されており、緩衝地域にも、地域の人々の努力によって幽玄な亜高山性針葉樹林に美しい湖沼や高層湿原が保全されています。

こ志賀高原ユネスコエコパークは、これら豊かな自然を活用したエコツーリズムと、環境学習を実施しています。



「自然と人間社会の共存」環境学習を通して、持続可能な社会づくりの担い手の育成を目指します。



緩衝地域「自然探勝コース・ニコウキスゲの群生」



緩衝地域「一の瀬・シナノキコース」



核心地域「まが玉の丘コース・ふたご岩」



核心地域「池めぐりコースコース・四十八池湿原」



核心地域「池めぐりコース・大沼池」

■行程[1日のモデルプラン]とプログラム内容

※学校のスケジュールに合わせて組合せができます。

環境学習講義 45分



講師:志賀高原ガイド組合ガイドによる講義

- 志賀高原ユネスコエコパーク・MABについて
- 地球環境から身近な環境までの問題を考える
- 野外実習の予習授業 等

宿泊施設で約1時間の講義で、自然と人との共生についての関心と理解を深めます。



宿泊施設内

野外環境学習

※スケジュールやコース状況、人数によって設定時間・コースが異なります。事前にご連絡ください。※雨天であっても危険のない場合は実施します。



緩衝地域「サンシャイントレイル・炭焼き窯」



緩衝地域「一の瀬せせらぎコース・原種のイワナ」



核心地域「池めぐりコースコース 大沼池」



核心地域「自然探勝コース・根上りの木」

講義終了後または後日、志賀高原ガイド組合ガイドと共に、緩衝地域や核心地域内のトレッキングコースを歩きます。時間やレベルに応じた様々なコースで自然学習が可能です。

志賀高原ユネスコエコパークでは環境保全にどのような問題がありどの様に対処しているかを、トレッキングをしながらガイドから学びます。

緩衝地域でのトレッキング

一の瀬せせらぎコース・サンシャイントレイルコースなど緩衝エリア(バッファゾーン)をガイドと主に歩きながら、主に人間と自然との共生や志賀高原の歴史について学習します。

核心地域でのトレッキング

自然探勝コース・池めぐりコースなど核心エリア(コアゾーン)をメインにガイドとともに歩き、守らなければいけない志賀高原の重要な自然に触れながら学習します。

オプションプログラム 環境保護活動・その他

環境学習屋外実習の一環として、高山植物保護活動(外来植物駆除体験)、外来植物草木染体験、登山遊歩道環境整備活動、かんじきづくり体験なども、ご提案できるプログラムがございます。志賀高原の環境への理解と自分にも出来る行動の発見。自然と人との共生について学びます。



高山植物保護活動・外来植物駆除体験



かんじきづくり



登山遊歩道環境整備活動



外来植物草木染体験

レポートの作成

宿泊施設内



1日の環境学習を終え、自身のレポートを作成して、講義と野外での実習をまとめ理解を深めます。

- 志賀高原ユネスコエコパーク・MABについて理解し発見したこと
- 自然環境と自分の関係性
- 自分に何ができるかという具体的な行動
- 持続可能な開発に関する価値観 等

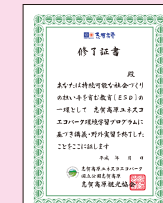
修了証・ピンバッジの授与



環境学習講座、野外学習、レポート感想文の提出の後、修了者に記念ピンバッジと修了証書が授与されます。



修了記念ピンバッジ



生徒向け修了証書



学校・団体代表向け修了証書



宿泊施設内

選択カテゴリー ディスカッション・ワークショップの開催

約60分

環境学習講義・野外実習終了後、生徒の皆さんが自発的に発言をおこなえる環境でガイドが質問に答えます。学習で得た知識・感心したことなどをもとに話し合い、生徒のみなさんが感じたこと、他の友達が感じたことへの共感や新しい考え方の発見など、思考力を養います。



移行地域での実習

移行地域(トラジッションゾーン)



志賀高原の保全と共生を学び、麓の中山間地域の農業・商業を営む皆さんと直接コミュニケーションをとりながら、移行地域において実際にどのような農業・商業が行われているかを学びます。内容についてはお問い合わせください。



移行地域「水の利用について」



移行地域「自然に配慮されたダム」